

能登半島地震 救援に全力

元旦に発生した能登半島地震は、甚大な犠牲と被害が広がっています。日本共産党は住まいの確保と再建、産業の復興支援、原発の情報開示と廃炉を求め、被災者の命と暮らしを守る活動に全力をあげます。全国で救援募金のとりくみを開始し、大平よしのぶ元衆議院議員も3日には広島市で、4日には三次市で地元議員らとともに街頭からの募金活動にとりくみました。

中国地方でも近年、西日本豪雨をはじめ、広島での度重なる土砂災害、江の川流域で繰り返される



募金を呼びかける大平さんと議員、候補者ら
(1月4日、三次市)

浸水被害、倉吉市や大田市を震源とした大地震などの災害に見舞われてきました。なお課題は山積みですが、大きな犠牲の上に、被災者と市民のたたかいによって支援制度の拡充も一歩ずつ実現してきました。被災者の個人としての尊厳を守り、健康で文化的な最低限度の生活を保障するためのさらなる法整備にも力を尽くします。

被災者に寄りそい 命を守る政治を

国民の苦難あるところ

日本共産党大平よしのぶ あり

商店街の衣料品店訪問

12月21日、下関市の長府商店街で衣料品全般を扱う「リブラ・しのはらゴフク」を訪問。地元紙の折り込みに「総理！ 消費税を無くしましょう！」との見出しで、全品10%値引きセールのお知らせを出したお店です。

店主さんからは、物価高騰と将来不安の高まる中で客足が遠のいている厳しい実態が。「イベントや1回限りの給付金ではなく、もう少しお金の使い方を考えてほしい」と広告に込めた思いを語り、消費税減税の実施を強く求めました。



今こそ消費税減税を！



クリスマスデモ

「これ以上の税負担は耐えられないぞ!」「消費税減税で暮らしを守れ!」「増税よりも裏金なくせ!」— 12月25日、広島市内で行われた消費税減税・インボイス廃止を求めるクリスマスデモ。参加者のコールが響きわたり、街ゆく人たちからも共感の眼差しや声援、こぶしを挙げる姿などが相次ぎました。

「じゃけー日本共産党」

「核兵器禁止条約と被爆者・市民の声が世界動かす 締約国会議に参加して」をテーマに、同会議に参加されたお二人（笠井亮衆議院議員・佐久間邦彦広島県被爆団協理事長）をゲストに語り合いました。「条約が核使用の手を縛り、力を発揮している」（笠井さん）、「日本政府は今回も会議を欠席した。恥ずかしいし許せない」（佐久間さん）など会議の報告と感想を述べ、核廃絶への決意を交流しました。



(右上から時計回りに) 垣内京美 比例予定候補、佐久間理事長、笠井衆議院議員

動画はこちら



大平予定候補の 新年あいさつ動画

動画はこちら



日本共産党とご一緒に政治を変えましょう。「しんぶん赤旗」拡大にご協力を。

友達募集中!

衆議院比例代表は「日本共産党」と政党名で 候補者名は無効

大平よしのぶ LINE 公式アカウント

